



しょう がっ こう
笑・楽・幸 通信

「いい顔」「いい声」「いい心」

No.25

【発行日】令和7年1月23日

【発行者】校長 金井 哲也

第3回小中合同あいさつ運動

1月21日（火）の朝、小中一貫教育の取り組みの一つとして行っている「小中合同あいさつ運動」の3回目を行いました。昨年12月17日に行った2回目には、本校を卒業した白根巨摩中学校の2年生の学年生徒会の皆さんが来てくれて、あいさつ運動をしてくださいましたが、今回は1年生の学年生徒会の皆さん5名が来てくれました。本校の児童からすると、一番知っている生徒さんたちでしたので、中には笑顔で手を振ってあいさつする児童もいました。



今年度、小中一貫教育の取り組みを様々行ってきましたが、これからさらに充実させていき、白根巨摩中学校区の児童・生徒の健全育成につなげていきたいと思えます。

人権教室

1月21日（火）の2校時に1・3・5年生を、3校時に2・4・6年生を対象に、人権教室を開催しました。本校では、この人権教室を人権擁護委員の方々を講師に毎年開催しており、今年度で3回目となりました。今年度は、9名の委員の方々にご来校いただきました。

内容は、「いじめについて」をテーマにした学習会です。1・2年生は「いっしょに あそぼ！」という紙芝居を、3・4年生は「プレゼント」というDVDを、5・6年生は「いじめと戦おう」というDVDを視聴しました。その後、子どもたちは意見交換をして、ワークシートに意見や感想を記入しました。子どもたちの感想には、「いじめは絶対にいけないことだと思った」「相手の気持ちを考えることが大切だと思った」「いじめの加害者はもちろん、傍観者にもならないようにしようと思った」など、子どもたちが感じたことを、一生懸命ワークシートに書いていました。

今回の教室を通して、一人ひとりが真剣に「いじめについて」考えることができたと思えます。今後の生活に、ぜひ生かして行ってほしいと思えます。

